



●VOL.46号 2018年1月1日 発行

八潮市長 大山しのぶ 風

ニュースレター

■大山しのぶ事務所
埼玉県八潮市八潮2-18-8
パークアヴェニューK
TEL.048-994-6000
FAX.048-994-6001
■最新情報はホームページで
<http://www.s-oyama.jp/>

編集・発行／ やしおママ倶楽部 〒340-0815 八潮市八潮2-18-8 Tel.048-994-6000



■ 昨年の選挙を経て、2期目がスタート。 いよいよ政策の真価が問われる時期へ

2018年が始まりました。本年が皆様にとりまして実り多き年となりますよう祈念いたしております。

さて、私は昨年、9月の選挙を経て、引き続き、2期目、八潮市長を務めさせて戴くこととなりました。

振り返れば、1期目の選挙では八潮市を「住みやすさナンバー1(ワン)のまち」という目標を掲げ、2期目は、「人」「暮らし」「環境」の健康を進め、共生と協働のまちづくりを行う具体的なイメージを先端「健康」都市・八潮として訴えさせて戴きました。

私が考える「健康」は、体や心の健康管理だけではなく。皆さんが安心して暮らしていくためには、地域社会が温かく、助け合いの心があり、活力があることが必要です。「暮らし」の安心につながる防犯・防災対策や、地域の活力を支える農商工業の活性化や賑わいの創出、都市基盤の整備といった、まちの健康にも取り組んで参ります。

一例を挙げれば、これまで、手つかずであった老朽公共施設問題は「八潮市公共施設マネジメント基本計画」として、今後30年間という長期的な視点で公共施設の建替え・統廃合・長寿命化等の具体的な取組方針等を定めました。この中でリーディングプロジェクトとして注目されている「市庁舎」「文化スポーツセンター」の建て替え問題も、基本計画～パブリックコメント～実施計画に進む段階に入ってきていま

2018年 年頭に決意!

住みやすさナンバー1^(ワン)への 第二章 先端「健康」都市・ 八潮に向かって…。

す。これからが真価が問われる時期と考え、決意を新たにしているところです。

■ 増え続ける人口増を見据え、 子育て・教育への施策をさらに充実。

おかげさまで八潮市は人口が毎年、着実に増加しています。(平成29年12月、総人口88,831人)

しかし、人口が増えるということは、その一方で行政サービスへの期待・需要が増大していくことを意味しています。

社会的な課題となっている子育て、教育環境の整備に八潮市は、とくに力を入れて参ります。今年度は200人規模で保育所、学童を民間の力を借りながら整備します。保育を支えるマンパワーの育成のための施策も進めます。子育てで若い世代が孤立することがないように子育てほっとステーションや子育てナビを相次いで実施して参りましたが、今後はさらに地域で安心して子育てが出来る体制をつくります。

子供が増えれば学校が不足します。小学校、中学校もあと数年で定員を超えることが予想されるので、新設校への取り組みを進めます。小中学生の学力体力、教育のレベルアップも成果が上がってきている中、さらに着実に進めて参ります。

■ 高齢者福祉の充実を急ピッチで進め、 さらに共生・協働のまちづくりへ!

一方、市民の平均年齢が若い八潮市は、それ故に、

今後はお年寄りへの福祉の充実にも取り組まねばなりません。高齢者の方々が住み慣れたまちで、孤立することなく、生きがいを感じながら自分らしい暮らしを実現する「地域包括ケアシステム」づくりが急務です。そのために今年度から1つの団地をモデル地区に指定して、体制づくりを急ピッチで進めます。さらに社会問題化している認知症の対策として、孤立しがちな認知症の方やそのご家族が、地域の方、専門スタッフと交流する拠点・オレンジカフェも各地域に整備をして参ります。

さらに子育て世代、お年寄り世代、新たに八潮に移り住んできた方、この地にずっと住んでいる方たちが共生・協働して交流し、新たなコミュニティをつくっていくための施策を進めて参ります。

■ 先端「健康」都市へのスタートの年、 引き続き、チャレンジを続けます。

先端「健康」都市八潮づくりは今年がそのスタートの年となりますが、現在、市が行っている健康づくりの各種プログラムを充実させるとともに、予防医学の見地から、市民の皆様が自ら健康づくりを楽しみながら行えるためのシステムの導入なども検討しています。これは近いうちに、その一部の動きが具体的にお示し出来ると思います。

このように八潮市が取り組みべき課題は多岐にわたっていますが、日本に超少子高齢社会が目前となるこの数年が八潮市にとっての次への発展の正念場と思い、勇気をもってチャレンジを続けて参りたいと思っております。本年も引き続き、ご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

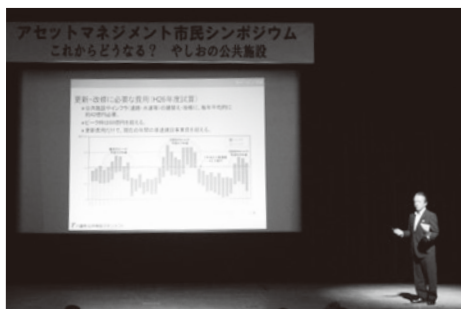
八潮市長 大山しのぶ

■ 大山忍(おやましのぶ)プロフィール

●昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ(60歳) ●八潮町立第三小学校(現・八潮市立八幡小学校)～草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒 ●大学卒業後、機械メーカーでサラリーマン～国会議員秘書経験12年 ●平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ ●平成12年、埼玉県議会議員に初当選(4期連続当選) ●平成25年9月8日の八潮市長選挙に立候補。1万9717票をいただき、八潮市長に初当選 ●平成29年9月3日、無投票で2期目当選



■平成28年度八潮子ども夢大学修了式



■アセットマネジメント市民シンポジウム



■八潮メセナで「体操&ピアノコンサート」



■八潮市災害応急対応高度化研修を実施



2017年を振り返って…。

大山しのぶ市長、着実に成果を生み、挑戦を続ける!

2017年は、大山しのぶの市長1期目の最後の年にあたるとともに9月の市長選挙で再選され、2期目の最初の年でもありました。これまで取り組んできた、子育て支援・教育、高齢者福祉で特長ある施策が動き出すとともに、防災やシティセールスなどでも新たな取り組みで注目された密度の濃い1年でした。

ブランドとして魅力を確認し、積極展開へ! 「八潮ブランド～世界に誇るまちの逸品～」を認定(2月21日)

市内で製造・生産された優れた製品を「八潮ブランド」として認定するもので、平成28年度は、工業のまち・八潮を象徴する、工業製品を認定対象としました。「八潮ブランド」として認定された認定品は、八潮市の資産として、まちの価値や八潮産の製品の信頼性をさらに高め、その魅力を市内外に情報発信することで、市の知名度アップと地域の活性化を目指します。

認定されたのは、(株)沼澤製作所の「アイラッシュカーラー」と(株)イワコーの「おもしろ消しゴム」の2製品。



八潮市HPより

子育て情報、タイムリーにお届けします。 「やしお子育て応援ナビ」の運用開始(7月3日)

産前産後のご家族が安心して過ごせるための新事業です。おなかの赤ちゃんの成長の様子や産後の子育てのアドバイス、予防接種スケジュールの自動案内、予防接種実施医療機関、感染症等の流行情報、乳幼児の健康診査などのタイムリーな情報を届けするサイトです。



<http://yashio.city-hc.jp/>

より実践的な災害研修、県の内外からも注目! 八潮市災害応急対応高度化研修を実施(9月22日)

八潮メセナにおいて、大地震発災直後に災害対策本部で直面する課題を模擬体験し、災害イメージの習得や災害時の状況予測・判断能力等の向上を図るため、研修を開催しました。研修では、災害対策本部の設置および運営を想定した図上シミュレーション訓練を行いました。



安心・安全を支えるために…

医療費全額助成に加え、新制度スタート。 誕生祝金制度、こども医療費の全額助成開始(4月1日)

子どもの誕生を祝い、健全な育成を支援することにより、子どもを産み育てやすい環境をつくっていくため、誕生祝金の支給制度を開始。支給額は、対象となるお子さん1人につき1回に限り3万円。また、こども医療費の支給内容を拡充し、小中学生の医療費全額助成を開始しました。

介護のより多様なサービスにつなげます…。 介護予防・日常生活支援総合事業、 高齢者ふれあいの家支援事業の開始

いつまでも住み慣れた地域で住み続けることができるよう、4月から介護予防・日常生活支援総合事業を開始しました。総合事業は、これまで全国一律の基準により提供してきた要支援者の訪問介護や通所介護のサービスに、市が「基準を緩和したサービス」などの多様なサービスを加え、提供するものです。

また、5月から地域での交流の場として、空き家等を活用した高齢者ふれあいの家支援事業を市内2か所で開始しています。

老朽公共施設の対策がいよいよ動き出す! アセットマネジメント市民シンポジウムの開催(6月10日)と 八潮市公共施設マネジメントアクションプランの策定(8月)

八潮メセナにおいて、公共施設の維持管理や整備に関する今後10年間の行動計画をまとめた「八潮市公共施設マネジメントアクションプラン(素案)」の公表及び市の公共施設マネジメントの取組に関わる有識者による基調講演とパネルディスカッションを開催しました。

8月には、老朽化の進む公共施設をどのように維持管理・整備するか、今後10年間の具体的な取組を示した「八潮市公共施設マネジメントアクションプラン」を策定しました。



活発に行われたパネルディスカッション

市の魅力を様々な角度からお伝えします。 市ホームページにシティセールスの特設サイトを開設(11月1日)

市のシティセールスの一環として、市公式ホームページに特設サイト「ICHIOSHI! YASHIOSHI(イチオシ!ヤシオシ)」がスタート。市のプロフィールのほか、「つくる・たべる・あそぶ・まなぶ」の4つに分類し、市の魅力を分かりやすく発信します。



八潮市HPより

市の発展、シティセールスなどに効果を期待 3つの大学などとの協定締結で連携強化

八潮市と大学の相互の発展と人材の育成を図るため、3月28日に国土館大学と、6月21日に淑徳大学と包括連携協定を締結しました。

また、8月16日にシティセールスプランの推進と市の効率的な魅力発信を図るため、BLEA学園グループとシティセールスの推進に関する協定を締結しました。



国土館大学と



淑徳大学と



BLEA学園と

大山しのぶ
事務所

埼玉県八潮市八潮2-18-8 パークアヴェニューK
TEL.048-994-6000 FAX.048-994-6001

最新情報は
WEBで!

ホーム
ページ
公式
ブログ

<http://www.s-oyama.jp/>
<http://ameblo.jp/oyama-shinobu/>